



4月 ちょっと一言

主任司祭 鵜飼好一

本格的な春の到来と共に、教会も喜びの季節を迎えようとしています。4月の初めはまだ四旬節中ですが、すぐに聖週間、復活祭を迎えます。わたしたち信徒にとって復活祭は何といても一番大きな喜びの日です。その喜びを一人ひとりが心から享受できますように恵みを祈ります。

教会では復活祭の後、いろいろな意味で新しい歩みが始まります。教会は常に刷新されていきます。教会刷新は主ご自身のみわざですが、わたしたちは常に主のみ旨を知り行うように努力していきましょう。

今年は世間でも大きな変化が見込まれます。5月には年号も替わり、大きな連休も控えています。4月から5月にかけてはわたしたちを取り囲む自然も大きく変わっていきます。新しい息吹に吹かれることは大変望ましいことではないでしょうか。気分を一新して、前に進むことができるように願っています。

小田原教会としては、4月はとても忙しくなりそうです。創立140周年を迎えるに当たって、司教様をお迎えする準備の期間はそれ程長くありません。この年が記念すべき小田原教会の年として有意義な年になるようにみんなで頑張りましょう。何といても、大きなお祝いでわたしたちの心が一層喜びで満たされますように祈ります。

みんなで一致して何かをし、同じ目標に向かって一緒に苦勞することを通して、絆を深めることができれば幸いです。一人ひとりの力は小さくても、たくさんの人の力が一つに結ばれるとき大きな力になります。新しい出会い、新しい出発、新しい目標、新しい発見があるといいなと思います。

「新しい」という言葉は、「私はすべてを新しくする」という主のみことばを思い起こさせます。わたしたち一人ひとりが神さまから呼ばれたのは、この「新しい創造」の協力者となるためです。福音をもたらすことによって主の「新しい創造のみわざ」が広がっていきます。それがわたしたちの喜びの源になりますように。

